

Tech Garden Salon

田舎工学序説

百姓 / 「南薩の田舎暮らし」 代表

くぼ そういちろう

窪 壮一郎 



日時

2016年 11月19日(土) 15:00 開場 15:30 - 17:30 講演

会場

マルヤガーデンズ7F garden7

〒892-0826 鹿児島県鹿児島市呉服町6-5
☎099-813-8108

入場
無料

定員50名

主催



一般社団法人 蔵前工業会 (東工大同窓会) 鹿児島県支部

<http://kagoshima-kuramae.blogspot.jp/>

後援

maruya gardens

[お問い合わせ先]

蔵前工業会 (東工大同窓会) 鹿児島県支部 090-3677-7583 事務局 足立まで

Tech Garden Salon

日時 2016年11月19日(土) 15:00 開場 15:30-17:30 講演

私たちは、一昨年から「アートやカルチャーを楽しむように、テクノロジーの世界を楽しむ」をテーマに、マルヤガーデンズにて講演会を開催してきました。今年、テクノロジーとはちょっと違った「田舎づくり」の話です。

講演テーマ

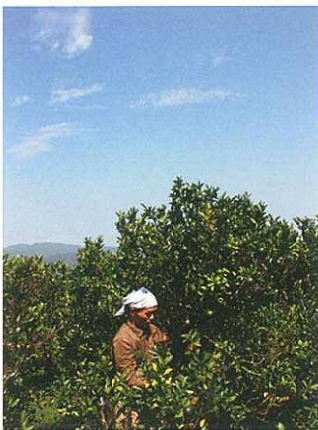


田舎工学序説

みなさんは「田舎工学」と聞いたらどんな学問だと思いませんか？実は、こんな学問はまだ存在していません。なぜならこれまで「田舎」は作っていくものではなく、既にあるものだったからです。しかし、近年非常に「田舎」への関心が高まっています。しかも、自分の故郷へ帰るのではなく、新天地を求める人が「田舎」へ向かってきています。自分なりの「田舎」を作っていくことを目指して。

では、どうしたら自分なりの「田舎」が作れるのでしょうか？それには、都市工学とも、従来の農村工学とも違う視点が必要になるでしょう。つまり、行政が中心になって行う上からのインフラ整備ではなく、個人の力で荒野を切り拓いていく草の根の動きが中心になってくるのではないのでしょうか。

自分自身が楽しく住める「田舎」を作るため、みなさんと一緒に「田舎工学」を考えてみたいと思います。



くぼ そういちろう

窪 壮一郎

百姓
「南薩の田舎暮らし」代表



南薩の
田舎暮らし
Live Natural, Meet Local



【南薩の田舎暮らし】

南さつま市大浦町で、農業をしながら、身の回りにある素材を使ってジャムを作ったり、お菓子を作ったりもしています。農作物や加工品はインターネットショップでも販売。また「海の見える美術館で珈琲を飲む会」など、地域の人と楽しむイベントもときどき主催しています。

(主な経営作物)

柑橘類（ポンカン、タンカン、しらぬい等）、水稻、かぼちゃ、アボカド（苗木育成中）

[プロフィール]

東工大を卒業後、文部科学省でいわゆるキャリア官僚として働いておりましたが、早々に退職、蛮勇で田舎に移住し、気づいたら百姓になっていました。娘2人と妻の家族4人でなんとか暮らしています。

- 1982年 鹿児島県吉田町（現鹿児島市宮之浦町）生まれ
- 2001年 鹿児島県立鶴丸高等学校卒業
- 2005年 東京工業大学理学部数学科卒業
- 2005年 文部科学省入省（国家公務員I種）
- 2009年 自己都合退職（最終官職：科学技術学術政策局 国際交流官付 企画係長）
- 2009年 東京工業大学総務部付
- 2011年 父方の故地である南さつま市大浦町に家族で移住

